

「FORUM for Advanced Fire Education/Research in Asia」設立のための キックオフセミナー（国際セミナー）の開催報告

2012年12月27日、28日の2日間、東京理科大学火災科学研究センターが主催して、「FORUM for Advanced Fire Education/Research in Asia」を設立するためのキックオフセミナーを開催した。開催国である日本を始め、アジアでは中国、台湾、韓国、ベトナム、インドネシア、バングラデシュ、アジア以外の地域ではイギリス、ニュージーランド、ブラジルの全10カ国から、大学教員、研究者、消防行政官、そして防火技術者等が一堂に会した。1日目は、アジアの火災統計に関する共通認識、アジアにおける火災安全に関する規定や基準に関する共通認識やアジア諸国での火災事故特性の紹介という2つのセッションにおいて11題の講演が行われ、夕方には懇親会も開催された。2日目は、アジアの建築火災安全に関する教育に何が期待されるか、また今回設立するフォーラムに何が期待されるか、というセッションにおいて3題の講演が行われ、その後今回のフォーラムの設立に関して意見交換会が実施された。参加人数は、1日目88名、2日目46名であった。



ディスカッションの様子

アジアの諸都市では経済成長を背景に超高層ビルの建設や地下空間の開発等の都市化が急激に進展し、空間や材料の利用が急激に変化しており、これに伴って火災の潜在的风险が増大していると同時に、大きな被害を出した（あるいはその恐れがある）火災事故が発生している。こうした問題に対して火災危険事象を分析し、対策を講じることが求められるが、アジア諸国では火災安全対策を検討する人材が不足しており、次世代の担い手を養成するためにも教育体制を整えることが必要である。また、ある都市で生じた火災危険事象の分析結果を共有することで、別の都市では未然に対策を講じることが可能となる。こうしたことを背景として、東京理科大学は2013年3月に終了する5カ年プロジェクトであるグローバルCOEプログラム「先導的防火安全工学における

東アジア教育研究拠点」の継続的な活動として、アジア諸国の火災安全に係わる関係者でフォーラムを設立することを提案した。そして、2日目に実施された意見交換会でのディスカッションを通して、今回設立するフォーラムについて以下に記す内容について決議を得た。

- 1) Construct the platform to exchange the information about Education and Methodology for Fire Safety Engineering and Science among related academic organizations in countries in the Asia-Oceania region.
- 2) For this purpose, one is Homepage, and the other is a periodical meeting like this FORUM.
- 3) For the time being, Tokyo University of Science will play as a secretariat of this FORUM until the activities become steady.
- 4) Seek a common funding from countries involved in the FORUM.

また、次回は、2013年10月頃に韓国 Hoseo 大学において開催する予定とし、まずは関係者のメーリングリストを作成した上で、次回開催に向けて調整することとなった。



集合写真

Masayuki Mizuno
(文責 水野雅之)